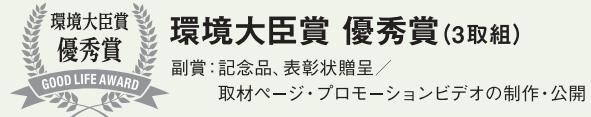
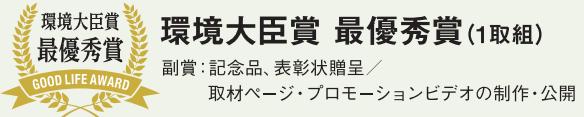


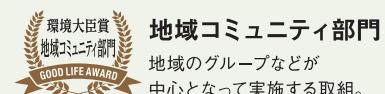
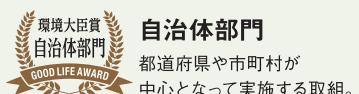
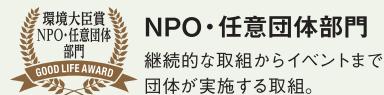
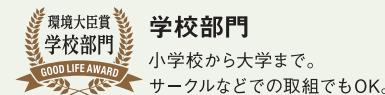
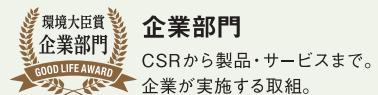
あなたのやっていること、実は、環境大臣賞候補です。

第5回 グッドライフアワード表彰内容

環境大臣賞 総合賞



環境大臣賞 部門賞



実行委員会特別賞

実行委員の専門分野などに関わるテーマごとに、優れた取組を選んで表彰します。



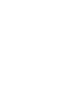
サステナブルデザイン賞
益田文和 実行委員長
(デザインコンサルタント)
サステナブル(持続可能)な新しい暮らし方をデザインする取組を表彰します。



子どもと親子のエコ未来賞
大葉ナナコ 実行委員
(公益社団法人 育生学園会代表理事 バースコーディネーター)
子どもは未来のオトナたち!ハッピーな地球の未来、エコな社会をめざす子どもや親子の取組を表彰します。



エシカル賞
末吉里花 実行委員
(一般社団法人 エシカル協会代表理事 フリーアナウンサー)
環境だけでなく、人や社会、地域に思いやりのある「エシカル」な取組を表彰します。



環境と福祉賞
炭谷茂 実行委員
(社会福祉法人 恩賜財團済生会 理事長)
福祉の向上とともに、エコロジーな社会づくりにも貢献する取組を表彰します。



環境地域プランディング賞
高橋俊宏 実行委員
(Discover Japan プロデューサー)
地域の知恵や考え方を大切にした取組を表彰します。



森里川海賞
中井徳太郎 実行委員
(環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長)
森里川海とそのつながりを豊かに保ち、その恵みを引き出す取組や、一人一人が森里川海の恵みを支える社会づくりに貢献する取組を表彰します。



環境社会イノベーション賞
藤野純一 実行委員
(公益財団法人 地球環境戦略研究機関 上席研究員)
環境保全に貢献しつつ、優れた社会イノベーションを実現する取組を表彰します。



環境アート&デザイン賞
南谷えり子 実行委員
(元エルジャポン編集長)
自由な発想とアイデアにあふれ、遊び心のある環境保護の取組を表彰します。

●募集対象

環境と社会に良い暮らしを実現するための活動に取り組む
日本国内の各種団体、企業、個人。

●応募方法

グッドライフアワード公式サイトの専用フォームからご応募ください。

●応募締め切り

2017年9月30日(土)

●応募先・お問い合わせ

info@goodlifeaward.jp
03-6804-3858 (9:30~17:30)

選考スケジュール

9月30日(土).....応募締め切り
11月上旬.....WEB投票
12月9日(土).....各賞発表・表彰式



社会をよくする取り組みを
環境大臣賞として表彰します

環境省 グッドライフアワード

[対象] 企業・学校・NPO・自治体・地域・個人

応募受付中

締切 2017年9月30日

グッドライフアワード公式サイトの専用フォーム

グッドライフアワード または http://www.env.go.jp/policy/kihon_keikaku/goodlifeaward/

あなたのエントリー、お待ちしています!



よりよい社会をつくるエコソーシャルな取り組みが大集合！

企業、学校、NPO、自治体、地域コミュニティ、個人…

多彩な顔ぶれが、環境大臣賞を受賞しています。

環境大臣賞「最優秀賞」を受賞した取組



三陸でボランティアのダイバーを集め
漁港の海底から震災がれきを撤去！

三陸ボランティアダイバーズ

岩手県大船渡市などを中心に、海底の震災がれき撤去作業などのボランティア活動を続けています。環境大臣賞受賞によって地元漁協との信頼関係が深まり、特産のホタテをいただけるレストランの運営など、さらに社会を元気にする取組へと発展しつつあります。



秋田の「山の名人」による天然山菜の
「採取代行」サービスで山村を活性化！

あきた森の宅配便

地元の高齢者を中心とした「山の名人」が、注文に応じて天然山菜を採取。全国に届けるサービスです。受賞後、テレビはじめ多くのメディアからの取材が激増。天然なので採れる量には限りがありますが、応援してくれるユーザー（秋田の山菜ファン）が増えました。



環境省が主催するグッドライフアワードは、環境と社会によい活動を応援するプロジェクトです。社会をよくする取組を「環境大臣賞」として幅広く表彰しています。企業、学校、NPO、自治体、地域コミュニティ、個人など、どなたでもエントリー可能です。今年で5回目。これまで日本全国のグッドライフな取組を環境大臣賞として表彰し、多くの団体が受賞をきっかけとして活動拡大のチャンスをつかみました。グッドライフアワードは受賞取組を広く社会に発信しますので、ぜひ、あなたの活動拡大につなげてください。



海水温上昇でダメージを受けたサンゴを
地元の漁協やダイバーたちと共に再生！

チーム美らサンゴ

地元漁協や企業などが連携。沖縄県恩納村で、ダイビングなどを楽しみながら養殖したサンゴを植え付けるイベントを定期的に開催し、海水温上昇でダメージを受けたサンゴの再生に取り組んでいます。受賞後、協賛企業が増えるなど活動の幅がさらに広がっています。



障がい者の仕事が高く評価される
「自然栽培」の農業を推進！

一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会
自然栽培とは、農薬や肥料、除草剤などを一切使わない農法のこと。米や野菜、果実など、耕作放棄地で附加值の高い作物をつくり、障がい者の雇用を生み出す取組です。受賞後、連携する施設が急増中。農福連携のネットワークが広がっています。



やまぐち食べっちょる運動
～おいしく、ぜんぶ、たべちゃう～

山口県食品ロス削減推進協議会

県を中心に協議会を設立し、県内の飲食店や旅館などが登録。また、広く一般家庭にも呼びかけて、食品ロス削減の具体的なノウハウを広げています。



繊維会社の余った布で学生が商品をデザイン、
障がい者が施設で製造して販売！

ユニー株式会社

地場産業である繊維会社で不要在庫になった布地を使い、デザイン学校の学生が商品をデザイン。優秀作を実際に店舗で販売するプロジェクトです。



津波で壊滅した宮城県名取市の海外林を
10年がかりで再生する植林を推進！

公益財団法人オイスカ東日本

大震災の津波で失われた宮城県名取市の海岸林再生の取組です。10年間で100haものクロマツ林を再生しようという壮大なプロジェクトです。



里山の森で子どもを育む幼稚園をつくり、
移住者の増加を促して地域活性化にも貢献！

智頭町森のようちえん まるたんぼう

森や川など野外のフィールドを活用し、のびのびと子どもたちを育む「森のようちえん」。行政とも連携して、着実な取組を実践しています。



海でカヤック。自転車、そして自分の足で山頂へ。
大自然を感じるスポーツイベントを各地で実施！

SEA TO SUMMIT 連絡協議会

メンバーブラジルが提唱して開催されている、海や湖をカヤックで進み、自転車で里を駆け抜け、登山で山頂を目指す、自然のフィールドを活用したスポーツイベント。



自然共生型の社会づくりを目指して
香川県が「かがわの里海づくり」を実践！

香川県

山、川、里（まち）、海に関わる、人やモノのつながりを再構築していく取組です。香川県が提唱し、企業や住民などが一体となって進められています。



里山の森を知り、森を守る取組として、
若者たちが間伐などの作業を実践！

緑のダム北相模

相模湖畔（神奈川県）の森で、荒廃する人工林を整備するボランティア活動。中学生や高校生（OBの若者たち）もが、間伐などの作業を行っています。



自然エネルギーで持続可能な暮らしを目指して
里山と耕作放棄地を若者たちが開墾！

楠クリーン村

耕作放棄地を若者が開墾して移住。自分たちで家を建てる、自然エネルギーを自給して共同生活を営みながら、お茶や野菜、フルーツなどを栽培しています。



森を貫く道路の上に、森で生きる動物
のための歩道橋を次々と設置！

アニマルパスウェイ研究会

森の樹上で生活するヤマネやリスなどの小動物のために「アニマルパスウェイ」と名付けた「歩道橋」を普及させることを目指す取組です。



環境系の資格を取得したプロマジシャンが
エコマジックで子供たちに環境教育を実践！

エコマジシャン ミヤモ

プロのマジシャンが環境について真摯に学び、エコロジーをテーマにした「エコマジック」のステージを構築。各地で講演などを開催しています。



地域資源のヒョウタンを活用して
高校生が町の活性化に挑戦！

岐阜県立大垣養老高等学校飴箪倶楽部秀吉

通学に使う養老鉄道廃線の危機を救うために、高校の有志サークルが一念発起。地元特産の飴箪（ひょうたん）を軸にした地域活性化に取り組んでいます。